

平成28年(2016年)12月6日(火曜日)

ホテル建設「東急」と発表

三島市が来月協定へ

三島駅南口

三島市は6日午前、三島駅南口西街区のホテル建設計画で実施したプロポーザル審査の結果について、東京急行電鉄(東京)を最優秀事業提案者を選んだと正式に発表した。1月中旬にも協定を結ぶ。開業目標は東京五輪開催直前の2020年4月。(三島支局・河村英之)



記者会見で、三島駅南口西街区のホテル建設計画の最優秀事業提案者を発表する豊岡武士市長(手前左)
=6日午前、三島市役所

三島駅南口の土地開発は20年近くにわたる方針が決まらず、事実上の塩漬け状態が続いていた。市はロータリー西側の西街区を広域観光交流拠点に位置付け、食事や情報発信機能を持ったホテルであることを条件に事業者を公募していた。

予定地は0.34畝。市が公表していた最低売却価格は4億8042万9310円だった。

関係者によると、ツインルーム主体のシティホテルになるとみられる。市役所で記者会見した豊岡武士市長は「まちのシンボルとしてさらなるにぎわいにつながると期待したい。湧水にも配慮された計画」と述べた。南口東街区は高層マンションを軸とした別の再開発構想がある。